

富士フイルム(株)富士宮事業場 サステナビリティレポート 2018

ご挨拶

富士フイルム富士宮事業場は世界文化遺産富士山の南西山麓に位置し、清澄な空気、豊富な湧水の恩恵を受けて操業しております。1963年の創立以来、地域やステークホルダーの方々にはご理解とご支援を賜り、深く感謝しております。

今後も、世の中のさまざまな社会課題解決のため新たな価値創出に取り組み、持続可能な開発目標(SDGs[※])などに積極的に貢献していきます。

※ SDGs : 2015年に、国連が採択した貧困や不平等、福祉の推進、気候変動への対応など2030年までに達成すべき17の目標



2018年11月
富士フイルム(株)
富士宮事業場長

川島 敏



*このレポートは、富士フイルム(株)富士宮事業場(関連会社含む)の環境・安全及び地域とのコミュニケーションについて、2017年度の活動や実績をまとめたものです。対象期間:2017年4月~2018年3月

富士宮事業場の概要

創立 1963年10月16日
所在地 〒418-8666 静岡県富士宮市大中里200番地
主要生産品目 医療及び工業用 X-レイフィルム、プレスケール、写真印画紙用支持体、各種機能性フィルム
マネジメントシステム ISO9001、ISO14001、OHSAS18001 認証取得統合プログラム プレミアム・ステージ(上位認証)
2017年度概況 生産金額 568億円、従業員数 1,132人(関連会社含む、2018年3月末時点)
事業場敷地面積 358千m²、事業場建物面積 132千m²

環境負荷概要

主要原材料	主要製品
パルプ、PET、ポリエチレン、ゼラチンなど 38,685t	X-レイフィルム、印画紙用支持体など 31,940t
エネルギー	環境成績
重油・灯油 25,006 kL	大気排出 VOC139t、CO ₂ 145,723t、SO _x 1.6t、NO _x 116t
購入電力量 911 MWh	排水量 12,132 千m ³
天然ガス 41,396 千Nm ³	排水水質 BOD 13t、COD 33t、SS 6.9t、総リン量 1.2t
水 12,423 千m ³	一般廃棄物 40t、産業廃棄物 2,327t、有価物率 63%

環境保全活動の概要

大気 各項目とも法令及び富士宮市との公害防止協定の規制値以下でした。
排水 法規制及び公害防止協定より厳しい事業場管理基準値を設け、各項目とも基準値以下でした。
ゼロエミッション 単純焼却・埋立ゼロの「ゼロエミッション」を継続しました(2001年以降継続中)。
環境モニタリング 定期的な地下水モニタリングにより、土壌や地下水の水質に問題ないことを確認しました。
PCBの適正管理 低濃度 PCB を含む浚渫物 10,394m³の撤去工事(掘削除去)を完了しました。

【特集-1】超微圧用プレスケール(5LW)の製造開始

プレスケール(圧力測定フィルム)は、富士宮事業場で40年以上生産を続けている製品で、圧力分布を可視化できるシートとして、自動車業界や精密機器業界など幅広い分野で使用されています。関連 URL: http://www.fujifilm.com/products/measurement_film/ja/prescale/product/

ラインアップ拡大も継続的に行っており、2017年度には、「超微圧プレスケール(5LW)」の開発~商品化を行いました。5LWは、薄型化が進むスマートフォン等の生産工程などからの要望を受け開発を行いました。マイクロカプセル技術や、精密塗布ハンドリング&乾燥技術を駆使し、「人が触っても発色してしまうような超微圧用プレスケール」の生産を可能にしました。

現在プレスケールはフィルム形態のみの供給ですが、今後は液形態や粉体形態での供給も視野に入れて、新しい市場に展開していくことを検討中です。富士宮事業場では、プレスケール以外にも、熱量分布を可視化する「サーモスケール」や、光分布を可視化する「UVスケール」の生産も行っており、これらの商品を活用いただくことで、国内外のお客様の生産安定化や、効率化に貢献できるよう努めていきます。



5LWの用途(スマホ等組立具合の確認)



【特集-2】富士宮市主催環境施設見学の見学

ごみ、排水処理などの環境問題にしっかり取り組んでいる企業ということで、富士宮市役所から住民の環境施設見学受入れの依頼がありました。富士宮市民23名が来訪し、環境保全グループの活動紹介、排水処理施設の見学、鯉の餌やりやチェキの写真撮影などを行いました。見学後のアンケートでは、「環境への取り組みが素晴らしい」、「緑がきれいな工場」、「金魚が排水処理の管理をしていることに驚きました」、「小さな子供でも取り組みが分かりやすく紹介されてよかった」などのご意見を頂きました。



環境保全活動

1) 廃棄物削減と3R[※]推進 ※3R:リデュース・リユース・リサイクル
生産安定化や徹底した分別回収により有価物化を推進し、継続して廃棄物発生量の削減に取り組んでいます。2017年は再生PET市場軟化の影響により、有価物化率は63%でした。

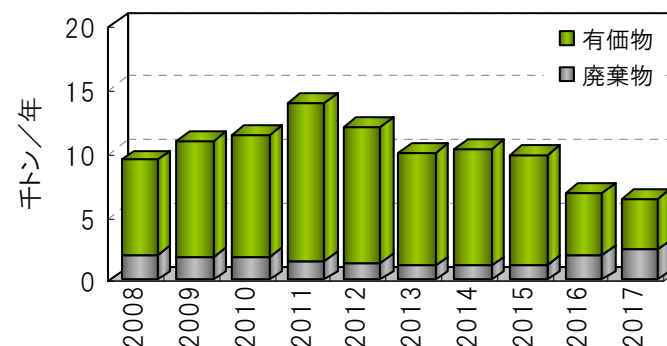


図1 有価物と廃棄物の推移

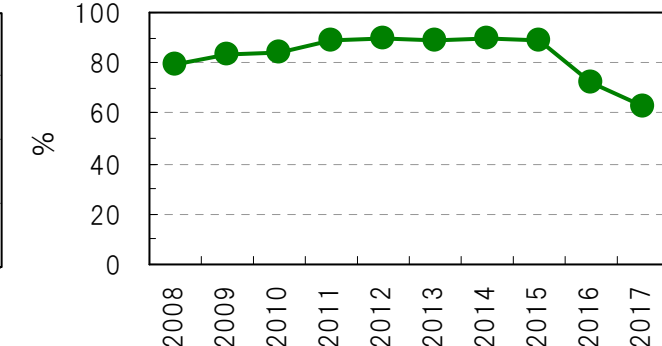


図2 有価物の割合の推移



2)水質汚濁防止

河川放流水の水質は富士宮市との公害防止協定範囲内であることを維持しています。

分析項目	単位	法令 規制値	静岡県 条例値	公害防止 協定値	工場 管理値	実績 〔2016年〕	実績 〔2017年〕
pH(水素イオン濃度)	-	5.8~8.6	5.8~8.6	6.4~8.3	6.4~8.3	6.9~7.7	6.9~7.7
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/l	最大 160 平均 120	30 20	9 6	9 6	2.2 1.0	1.7 1.0
COD(化学的酸素要求量)	mg/l	-	最大 30 平均 20	16 8	13 8	5.9 2.7	3.9 2.6
浮遊物質(SS)	mg/l	最大 200 平均 150	40 20	20 12	5 3	1.6 0.7	1.0 0.7
フェノール類	mg/l	5	-	-	5	<0.5	<0.5
大腸菌群数	個/ml	3,000	-	-	3,000	0	4

また、敷地内の地下水でもすべての物質が環境基準値内を維持しています。

3)大気汚染防止

各設備共にばいじんと窒素酸化物の濃度は、法規制値と協定値未満でした。また、硫黄酸化物の総量規制値も法規制値と協定値未満でした。

法規制	設備	ばいじん(単位 g/Nm ³)			硫黄酸化物(単位 Nm ³ /h)			窒素酸化物(単位 Nm ³ /h)		
		法規制値	協定値	実績値	法規制値	協定値	実績値	法規制値	協定値	実績値
濃度規制	3号発電ボイラー	0.15	0.01	未検出	—	—	—	150	130	110
	5号ガスタービン+4号廃熱ボイラー	0.15	0.10	未検出	—	—	—	150	100	61
	7~9号ガスエンジン(発電機)	0.05	0.04	未検出	—	—	—	600	200	130
	10~12号ボイラー	0.10	0.05	未検出	—	—	—	150	55	10
	10~12号加熱器(ボイラー)	0.10	0.05	未検出	—	—	—	150	55	37
	J-1、2熱媒ヒーター(ボイラー)	0.30	0.10	未検出	—	—	—	180	130	100
	焼却炉4号機(ボイラー)	0.08	0.05	未検出	—	—	—	250	60	35
	2号発電ボイラー(予備設備)	0.15	0.02	未検出	—	—	—	210	150	100
総量規制	全設備合計	—	—	—	20.34	17.44	3.64	—	—	—

※ 協定値:富士宮市と締結した公害防止協定値
 ※ 濃度規制と総量規制の数値は最高値です。

4)化学物質の適正管理 ~PRTR 対象物質・自主管理対象物質の管理状況~

PRTR 法(化学物質排出把握管理促進法)に基づき、人の健康や生態系に影響を与えるおそれがあり、且つ環境中への排出量や移動量が年間1トン以上の化学物質について、行政へ報告しました。

自主管理対象物質も含めた総排出量(大気排出と水域排出)、総移動量(廃棄物)はともに継続して減少しました。土壌への排出はありません。

それ以外の原材料や研究・検査・工程管理用の化学物質についても、労働安全・環境保全・製品安全及び廃棄物管理などの総合的観点からリスクを評価、管理基準を設定のうえ使用するシステムを構築して管理・運用しています。

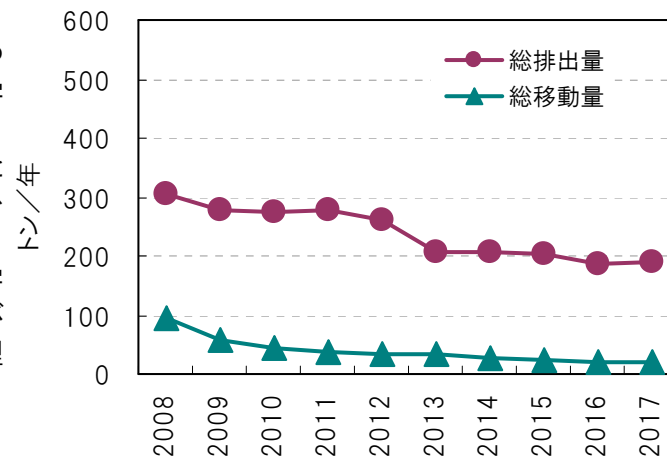


図3 PRTRの推移

労働安全衛生



1)労働災害ゼロへの取り組み

「隠れた危険源の洗出しと予防措置」と「計画外作業での一旦停止KY」を重点とした安全行動・安全活動の推進、労働災害や重大ヒヤリの横展開、化学物質リスクアセスメントの推進により、健康障害と労働災害の防止を進めました。

2)交通加害事故ゼロへの取り組み

通勤途上の加害事故ゼロを目指し、富士宮警察署合同による事業場周辺の交通安全立哨、交通事故動画の配信による意識向上、マイカ-通勤者向け安全運転セミナー等の交通事故防止の施策を実施しました。

3)心身の健康づくりと職場環境向上の推進

長時間労働がもたらす健康障害の防止、メンタルヘルスケアとカウンセリングや看護師面談による健康増進の支援、その他プロジェクトを立ち上げ、2018年10月からの建物内全面禁煙の準備を実施しました。

4)防災対策の推進

8年ぶりに公設消防との合同消火訓練を開催しました。また、新人者を中心に危険物消火や、消火器・消火栓取扱いの訓練を定期で実施しています。

5)安全教育・講習会・講演会の実施

安全環境大会と安全/防爆講演会(参加者約440名)、危険体感教育を充実させ新コンテンツを追加、延べ960名が受講。その他危険予知トレーニング、工具取り扱い教育等により、安全感や技能レベルの向上を図りました。

6)ワーク・スタイル・イノベーション(WSI)活動による働き方の変革

WSI セミナーや社内広報による啓発活動、週2回の定時退社日放送や日勤者の22時以降の残業原則禁止を通じて一人ひとりの意識改革を進め、併せて職場毎の業務効率化活動を進めて働き方の変革を推進しました。



安全環境大会



交通安全立哨



合同消火訓練

社会とのコミュニケーション



1)事業場周辺の清掃

(2017年6月1日、参加者約500名)

事業場周辺道路や潤井川周辺などの清掃活動を行いました。その他、6月の環境月間に、環境保全意識の高揚のため構内放送によるPRを行い、環境異常発生時の対応訓練、環境関係機器の点検、廃棄物置場の点検と清掃などを実施しました。

2)清水川清掃(2017年6月10日、参加者約170名)

従業員と地元大中里地区の方々が力を合わせて構内河川「清水川」の清掃を行い、その後憩いの池の畔で昼食をとともにしながら交流しました。

3)夏祭り(2017年7月27日、参加者約2,000名)

フィルムパークランドで、従業員とその家族のほか、近隣住民の方々にも参加いただき、バンド演奏、模擬店や花火などで盛り上がりしました。

4)大中里地区環境対話集会(2018年2月24日、参加者約40名)

大中里地区との共催による環境対話集会を事業場内で開催し、環境保全活動を紹介するとともに、地域の皆さまの声に耳を傾けコミュニケーションしました。また当日は、地元中学生と教職員合わせて20名が参加されたこともあり、分かりやすく説明することに努め、評価をいただきました。

5)事業場見学受入(通年、来訪者約200名)

企業や学校など、2017年も大勢の方々に来訪され、環境保全活動の説明、環境・エネルギー関連施設の案内などを行いました。



清水川清掃



大中里地区環境対話集会